

藤本

それらを取り上げざるは存く、他の問題を結びつけて取り上げる方は、さうした対応も漸次融和されるだろう。

しかし、ある迄貧農の要求をやり取りして、貧農を基礎として発展せよの事が肝心である。

その他に就て討議された結果

書記局として活動方針書を作成する事に決定する。

三 農村労働者組織促進の件

奈良 藤本

農労組織は部落における家内工業の職人、小工場における労働者を一般労働者組合の名義の下に組織してゐる。自由労働者をも組織すべく努力してゐる。農組の斗争は極めて密接な関係にある。労農の結合に関する意識が非常に昂揚せしめられてゐる。

兵庫 森

米の名義を持つ左が、淡路で二つの組織を小かけてゐる。全国的な組織にまで高めよう努力してゐる。

藤本

組織が固定する事は、常に全国的組織と密着し、そうした組織に編入出来る層は、編入するやうにしなければならぬ。

西鉄

農中も農組も組織するだけではなく、促進し援助するのでもなければならぬ。各府県は労組と協力して、組織促進に努力し、経験、資料等をもつて、参考にする事がある。

四 争議組織応援に関する件

説明 畠

説明 管

各府県取上において応援を必要とする大争議の際は、直々に外七を送って応援

⑥